

第8回 奈良公園地区整備検討委員会 議事要旨

日時 : 平成26年7月30日(水) 午前10時00分～12時30分

場所 : 奈良県新公会堂 会議室1・2

出席者 : 委員長 増井 正哉

委員 井原 縁、北口 照美、佐野 純子、塚口 博司、野矢 明、
坂井 賢次、松本 和也、山本 浩扶臣、遊津 隆義、
矢野アドバイザー (イコモス)

関係者 小北 道大

事務局 奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局奈良公園室

関係部局 《奈良県》道路環境課、奈良公園事務所、景観・自然環境課、
文化財保存課、文化振興課、管財課
《関係機関》奈良市景観課、奈良市文化財課、奈良市観光振興課、
奈良市総合政策課

議事 I. 若草山の移動支援施設について

- (1) 若草山移動支援施設に係る検討経緯
- (2) 県に寄せられた提案

II. 吉城園周辺・(仮)登大路ターミナルの整備について

議事要旨

<若草山の移動支援施設について>

○重要な計画を考える時は、その場所の価値を考えて検討を進めてほしい。

○にぎわいの意味合いについて、質が問われている時代であり、数にこだわることに懸念がある。

○若草山の移動支援施設に魅力はあるものの、構造的なものの整備はやっぱり難しい。

○委員の意見を総じて、バス案を推す意見が多かったが、環境面、景観面、整備面など、課題はあると思われるので、しっかり議論していく必要がある。

○若草山自身の価値をわかってもらえる活用の検討が必要ではないか。

●若草山のモノレールに対する懸念表明はイコモスの総意であるが、今日参加して、非常に安心するところがあった。今後、なぜ移動手段が必要なのかも含めて、議論を深めて頂ければ、自ずから結論が出るのではないかと感じた。 / 日本イコモス事務局長

<吉城園周辺・(仮)登大路ターミナルの整備について>

○吉城園とターミナルの範囲だけでなく、奈良の町全体からここをどう位置づけるかという広い目を見た、風致景観の保存、活用のあり方の検討をしていただきたい。

○検討を進めるにあたっては、法的な手順を十分に踏まえていただきたい。

○整備方針を具体化する前に、専門的な意見も含め、条件について議論する場を設けていただきたい。

○また、検討を進めていくプロセスについても、今後、奈良公園で何かを検討するにあたっては、チェック機能も含めて、しっかりとしたプロセスを経ていくことを考えてほしい。

以 上